



## マネージャの削除

IPMA マネージャを削除すると、Cisco CallManager は、そのマネージャの情報をディレクトリにユーザとして保持します。たとえば、*rmartinez* というユーザ ID を持つマネージャに 2 人のアシスタントがいて、それぞれ *dbell* と *jkent* というユーザ ID を持つ場合、マネージャとしての *rmartinez* を Cisco CallManager データベースで削除すれば、*rmartinez* と両方のアシスタントとの関連付けを解除できます。削除した後も、ディレクトリには *rmartinez* がユーザとして残ります。

### Cisco CallManager からのマネージャの削除

Cisco CallManager データベースと LDAP Directory から、マネージャと、そのマネージャとアシスタントのアソシエーションをすべて削除できます。Delete Managers オプションにアクセスするには、**Bulk Administration > Managers/Assistants > Delete Managers** を選択します。

削除する既存のレコードを検索する方法には、次の 2 つがあります。

- [クエリーを使用したマネージャのアソシエーションの削除 \(P.29-1\)](#)
- [カスタム ファイルを使用したマネージャのアソシエーションの削除 \(P.29-3\)](#)

### クエリーを使用したマネージャのアソシエーションの削除

Cisco CallManager ディレクトリ内で、アシスタントとのアソシエーションからマネージャを削除する手順は、次のとおりです。

#### 手順

**ステップ 1** **BAT Administration > Managers/Assistants > Delete Managers > Query** の順に選択します。Delete Managers Configuration ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 最初の Find Managers where ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- User ID
- First Name
- Middle Name
- Last Name
- Department

2 番目の Find Managers where ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- begins with
- contains
- is exactly
- ends with
- is empty
- is not empty

**ステップ 3** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**ヒント** データベースに登録されているすべてのマネージャを検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。



**(注)** マネージャを複数の部署から選択するには、このフィールドに複数の部署を入力します。たとえば、部署 12 と部署 24 からマネージャを選択するには、3 番目のボックスに **12, 24** と入力します。削除操作を 2 回繰り返す必要はありません。

**ステップ 4** クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、Search Within Results チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **AND** または **OR** を選択して、ステップ 2 ～ 3 を繰り返します。

**ステップ 5** **Find** をクリックします。

検索されたマネージャのリストが、次の項目別に表示されます。

- User ID
- First Name
- Middle Name
- Last Name
- Department

**ステップ 6** Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 7** マネージャを即座に削除するには、Run Immediately オプション ボタンをクリックします。マネージャを後で削除するには、Run Later をクリックします。

**ステップ 8** **Submit** をクリックして、選択したマネージャを削除するジョブを作成します。

**ステップ 9** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、Bulk Administration メイン メニューの Job Scheduler オプションを使用します。

ジョブの詳細については、第 51 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.54-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

### その他の項目

詳細については、P.29-4 の「関連項目」を参照してください。

## カスタム ファイルを使用したマネージャのアソシエーションの削除

テキスト エディタを使用してカスタム ファイルを作成し、削除対象のマネージャのアソシエーションを検索できます。

### 始める前に

1. 削除するマネージャのユーザ ID を指定したテキスト ファイルを作成します。
2. ユーザ ID は、1 行に 1 つずつ指定します。
3. カスタム ファイルを Cisco CallManager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、P.2-5 の「ファイルのアップロード」を参照してください。

カスタム ファイルを使用してマネージャのアソシエーションを削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** **BAT Administration > Managers/Assistants > Delete Managers > Custom File** の順に選択します。Delete Managers Configuration ウィンドウが表示されます。
  - ステップ 2** Select managers where フィールドで、識別子 **User ID** を選択します。
  - ステップ 3** 2 番目のフィールドである Custom File ドロップダウン リストボックスで、このトランザクション用に作成したカスタム ファイルの名前を選択します。
  - ステップ 4** **Find** をクリックします。  
  
検索されたマネージャのリストが表示されます。
  - ステップ 5** Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。
  - ステップ 6** マネージャを即座に削除するには、**Run Immediately** オプション ボタンをクリックします。マネージャを後で削除するには、**Run Later** をクリックします。
  - ステップ 7** **Submit** をクリックして、選択したマネージャを削除するジョブを作成します。
  - ステップ 8** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、Job Configuration ウィンドウを使用します。  
  
ジョブの詳細については、第 51 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。  
  
ログ ファイルの詳細については、P.54-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。
-

## 関連項目

- [Cisco CallManager 内のマネージャとアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.28-2\)](#)
- [Cisco CallManager からのアシスタントの削除 \(P.30-1\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.54-4\)](#)
- [ファイルのアップロード \(P.2-5\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.51-1\)](#)